

【別紙】令和2年度 学校自己評価重点目標シート (川口市立里中学校)

(A4判横)

学校教育目標	真剣に学ぶ生徒 人間性豊かな生徒 心と体を鍛える生徒
目指す学校像	グリットを高め いつも仲間とともに 夢のある学校

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日は、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者 (教職員を除く)	7名
事務局 (教職員)	2名

学校自己評価						
領域	年度目標			年度評価 (令和3年2月1日現在)		
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
組織運営	<p>【現状】概ね学校経営方針に基づいて各主任が組織を動かし、教職員が職務を遂行している。</p> <p>【課題】全教職員が学校運営に参画し、教育公務員として使命感のある職務を遂行することが大切である。</p>	<p>○各主任を核とした組織力を向上させ、学校経営方針を実現する。</p>	<p>○学年・委員会重点目標シートを活用し、各組織の実践をPDCAサイクルを活かして評価・改善しながら学校経営方針を実現する。</p> <p>○報告連絡相談体制、縦横の関係を確立された組織を構築する。</p>	<p>【目標】学校経営方針の実現に向けて、概ね組織的に取り組むことができた。</p> <p>【方策】各主任がリーダーシップを発揮し、方策を見直しながら組織的に課題解決に取り組むことができた。・教職員の報告連絡相談の情報伝達ルートを通じた良いものとし、情報の共有化が図られている。</p>	B	<p>【次年度への課題】課題解決に向けた新組織体制の円滑な運営。</p> <p>【改善策】教職員の学校運営に対する参画意識を一層高める必要がある。</p>
教育課程	<p>【現状】概ね校内研修テーマを意識した授業が展開できている。</p> <p>【課題】学校全体で確かな学力を育成する授業を研究する必要がある。</p>	<p>○研究授業や授業観察等を通して、生徒の主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に全教職員が取り組む。</p>	<p>○研究授業や管理職の授業観察時にフィードバックを確実に実行。</p> <p>○学力向上プランを活用し、各教科の実践をPDCAサイクルを活かして評価・改善しながら各教科の目標を達成する。</p> <p>○目的を明確にした要請訪問を計画的に行う。</p> <p>○3カ月の休校期間を踏まえ、学校再開後、放課後に補習を実施する。</p>	<p>【目標】確かな学力の育成は、計画通り進めることができた。全教職員が授業改善に取り組み、県学力学習状況調査で全学年・全教科で県平均を上回ることができた。</p> <p>【方策】校長の授業観察、フィードバックを計画通り実施。・全教科の学力向上プランを改善。・要請訪問を計画通り実施。・放課後の補習を6月から継続して実施。</p>	A	<p>【次年度への課題】ギガスクール構想1人1台PC端末の効果的な活用。</p> <p>【改善策】研究を推進し、質の高い授業へと改善する必要がある。</p>
開かれた学校づくり	<p>【現状】小中・中高連携事業を通して児童生徒の不安を取り除くよう努めている。</p> <p>【課題】本校に対する地域の信頼を一層高める必要がある。</p>	<p>○市民に休校中の取組を含め本校の教育活動を丁寧に発信する。</p> <p>□小中・中高連携の体験活動を強化する。</p> <p>◇地域に根付いた学校となるよう地域との連携を強化する。</p>	<p>○ホームページやメール配信、学校だよりを活用した情報発信を行う。</p> <p>□担当者間の連携を密に行い、効果的な体験活動を通して児童生徒が希望する学校生活をイメージできるようにする。</p> <p>◇コミュニティスクールを見据え地域行事への参加を通して地域との関わりを深める。</p>	<p>○【目標】本校の教育活動の発信は、計画通り進めることができた。【方策】本校の最新情報や活躍した生徒のコメントを発信。</p> <p>□【目標】体験活動は、概ね計画通り実施することができた。【方策】コロナ禍の体験活動は、その都度実施できる方策を考え実施。</p> <p>◇【目標】地域との連携は、コロナの影響で実施できなかった。【方策】公民館事業に協力し卓球部員に地域貢献活動を経験させることができた。</p>	A B C	<p>【次年度への課題】コロナ禍の地域に根付いた学校づくり。</p> <p>【改善策】地域との連携を一層強化する必要がある。</p>
教職員の資質向上	<p>【現状】概ね組織的に道徳の授業や生徒指導、教育相談を進めている。</p> <p>【課題】学校全体で豊かな心を育てる指導を行うことが大切である。</p>	<p>○「考え・議論する」道徳の実現を目指した授業づくりに取り組む。</p> <p>□共通行動で生徒指導にあたる。</p> <p>◇生徒の背景を捉え、生徒の置かれた状況に寄り添い教育相談にあたる。</p>	<p>○道徳教育推進教師と連携して全教職員が道徳の授業を行う。</p> <p>□生徒指導主任を核として、共通理解、共通行動を伴いながらチームで生徒指導にあたる。</p> <p>◇教育相談部会と連携し、チームで教育相談にあたる。</p>	<p>○【目標】道徳の授業づくりは概ね計画通り進めることができた。【方策】全教職員が道徳の授業を実施。</p> <p>□【目標】生徒指導は、計画通り進めることができた【方策】共通理解のもと、チームで生徒指導にあたる。</p> <p>◇【目標】教育相談は、概ね計画通り進めることができたが成果を出すに至らなかった。【方策】生徒一人一人に寄り添いチームで教育相談にあたる。</p>	B A C	<p>【次年度への課題】本校の校訓である自立・協調を備えた人材の育成。</p> <p>【改善策】道徳の授業スタイルを確立し、質の高い授業へと改善する必要がある。教育相談においては、組織的な対応が一層必要である。</p>
施設・設備等の管理	<p>【現状】交通安全教育や防災教育等を通して危機管理意識の高揚に努めている。</p> <p>【課題】危機管理意識を一層高め、事故を未然に防ぐことが大切である。</p>	<p>○命を守る学校として、交通安全教育や防災教育を充実させ、事故防止を強化する。</p>	<p>○交通事故防止の指導、メール配信を活用した注意喚起を行う。</p> <p>○避難経路を年間を通して全教室に掲示する</p> <p>○日常の校内巡視、毎月の安全点検を確実に実施し、修繕等の事後対応を市教委と連携して行う。</p>	<p>○【目標】事故防止は、計画通り進めることができた。</p> <p>【方策】交通安全教室、一斉メール配信やHPを活用した事故防止の啓発を実施。・年間を通して避難経路を全教室に掲示。・修繕は停滞することがあったが、緊急性の高い箇所や昨年度から要望が出ている箇所の修繕は実施。</p>	A	<p>【次年度への課題】教育活動における安全確保</p> <p>【改善策】教育活動中のヘルメット着用を徹底する必要がある。修繕を計画性を持って速やかに行う必要がある。</p>

学校関係者評価	
※実施日	令和2年2月19日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>生徒、保護者ともに学校評価アンケートの結果が高評価であり、これまでの取り組みの成果である。</p> <p>次年度、不登校生徒の登校や学級復帰を目指すしながら、生徒の心の居場所となるようなステップルーム経営に期待している。</p>
	<p>GIGAスクール構想への取り組みについては、これまでの協力的な学習活動も大切にしながらバランス良く進めてほしい。</p>
	<p>働き方改革の課題やコロナ禍で、学校間連携の推進がなかなか難しい中、地元の上級学校や小学校との連携は大変意味がある。今後も充実させてほしい。</p> <p>保護者学校評価アンケートで「学校はHPや各種たより、通信などで学校や生徒の様子を知らせている」という項目がとても高い。大変丁寧な情報発信を行っていることがわかる。</p>
	<p>道徳の授業について、授業スタイルの統一や考え・議論する道徳の大切さが理解できた。今後さらに進めてほしい。</p> <p>引き続き、いじめ事案や不登校生徒の対応については丁寧に対応してほしい。</p>
	<p>自転車乗車時のヘルメット着用については、安全を確保するうえでもしっかりと進めてほしい。</p>